

The Japan Association of Chinese Language Education

中国語教育学会会報

第69号(通巻94号) 2024年1月16日発行

〒261-0014

千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1

神田外語大学 アジア言語学科

中国語専攻 植村麻紀子研究室内

中国語教育学会

Website <http://www.jacle.org/>

Email headoffice@jacle.org

郵便振替口座 00110-1-191152

目次

1. 第23回全国大会発表募集	1
2. 2024年度第2回理事会報告	2
2.1. 開催日時・方式・出席者	2
2.2. 報告事項	2
2.3. 審議事項	9
3. 事務局からのお知らせとお願い	11
3.1. 会員動向および会費納入状況	11
3.2. 会費納入のお願い	12
3.3. 退会および除籍について	12
3.4. 登録情報の変更について	12

1. 第23回全国大会発表募集

中国語教育学会第23回全国大会は、2025年5月31日（土）、6月1日（日）に北海学園大学（北海道・札幌市）で開催されます。大会概要は下記のWebサイトをご覧ください。

<https://www.jacle.org/annual23/>

第23回全国大会の発表申し込み期間は、2025年1月25日（土）から2月15日（土）23:00（日本時間）です。発表申し込み前に必ず下記の学会Webサイトにて最新の発表応募規定をご確認ください。

<https://www.jacle.org/application2025/>

発表申し込みは、2025年1月24日（金）の時点で2024年度までの会費を納入済みの中国語教育学会会員に限ります。会費をまだお納めでない方は早めにご納入ください。なお、本学会の年度は4月に始まり、翌年3月に終わります。2024年度は、2024年4月1日（月）から2025年3月31日（月）までです。会費納入状況は、Web版会員名簿（会員情報管理システム）を通じて会員ご自身で確認することができます。

<https://a-youme.com/aymms/jacle/login>

2. 2024年度第2回理事会報告

2.1. 開催日時・開催形式・出席者

開催日時：2024年12月1日（日）13:30-17:00

開催形式：オンライン（Zoom）

出席者（敬称略）：

植村麻紀子、加藤晴子、清原文代、氷野善寛、勝川裕子、佐々木勲人、杉江聡子、
鈴木慶夏、陳淑梅、中田聡美、長谷川賢、平井和之、藤井達也、紅粉芳恵、丸尾誠、
三宅登之、村上公一

藤井久美子（『中国語教育』23号、2024年度編集委員会委員長）

伊藤大輔（デジタルリソース委員会委員長）

青野英美、黄琬婷、日高知恵実（幹事）

欠席者：

西香織、古川裕

田邊鉄（第23回全国大会準備委員会委員長）

2.2. 報告事項

2.2.1. 2024年度第2回編集委員会報告

藤井委員長より、11月23（日）10:00~11:40にZoomによるリモート方式で第2回編集委員会が開催されたことが報告され、『中国語教育』第23号の査読結果が示された。投稿された16本のうち15本を受理し、査読の結果、「修正条件を満たせば採用」となったものが4本（論文3本、実践報告1本）であったこと、ほかに依頼原稿2本、合計6本が掲載予定であるとの報告がなされた。第23号の投稿期間は第22号記載の「投稿規程」とは異なる日程で設定したものの、学会ウェブページや会員宛メールなどで複数回投稿締め切りを連絡したため、問題は生じなかったことも報告された。

2.2.2. 第22回全国大会（2024年度）参加者数および会計報告

中田理事より、第22回全国大会の参加人数は220名であったこと、会計収支については、以下のとおりであったとの報告がなされた（第22回全国大会準備委員会委員長・古川理事の代理報告）。

〔収入〕

大会運営費（事務局より、基本分40万+追加分90万）	1,300,000円
大会参加費（参加費・懇親会費・弁当代・飲料代）	1,037,923円
書店・出版社出展料（団体12社・非団体6社）	66,000円
託児利用費（利用者1名）	10,000円
計	2,413,923円

〔支出〕

プログラム印刷・郵送費（あゆみコーポレーション）	113,800円
大阪大学施設利用費	401,515円
基調講演・シンポジウム登壇者への謝礼・旅費	142,600円
基調講演・シンポジウムの源泉徴収費（納税）	16,054円
託児サービス費	143,620円
アルバイト代（12名）	240,900円
交通費（梁霞先生の送迎を担当したスタッフへの支出）	1,400円
弁当代・飲料代（準備委員・アルバイトスタッフ・登壇者・一般参加者）	96,531円
懇親会費（料理350,000円＋飲み物68,900円）	418,900円
備品代（ポスター・名札・領収書・封筒など）	19,276円
郵送代（切手・翌年度引き継ぎのための物品郵送）	4,592円
振り込み手数料・硬貨料金	2,730円
計	1,601,918円

残金812,005円（事務局に返金済み）

2.2.3. 2024年度研究会開催報告および今後の開催予定

紅粉理事より、2024年度第1回研究会開催報告および今後の予定が報告された。当初の予定では第2回は2024年12月15日（日）に開催予定であったが、応募締め切り時点で発表申込者が2名のみであったこと、また同日に「日中対照言語学会全国大会」が開催されるため、聴衆も少ない可能性があることから、すでに発表申し込みをされていた2名の上承を得た上で、第2回研究会は2025年2月16日（日）に延期したとの説明がなされた。

また今後の研究会参加申し込み方法について、これまでは研究会参加希望者は事前に申し込みをおこない、研究会担当は申込者に対して研究会開催日前にメールでZoom情報を一斉送信していたが、参加者および研究会担当者双方のメリットを考慮し、今後は会員全体に向けてメーリングリストで案内するよう変更するとの報告がなされた。

2024年度第1回研究会（運営担当：西日本）

日時：2024年8月3日（土）13:00～15:15

開催方法：オンライン（Zoom）

参加者数：申し込み36人、当日参加者約22人

当日の流れ（発表30分＋質疑応答10分＝1人40分）

13:00～05 諸注意

13:05～13:45 [研究発表] 王棟（東京外国語大学・特別研究員）

“正VP”の事象類型に基づいた副詞“正”の意味記述

13:45～13:50 休憩

13:50~14:30 [研究発表] 劉玲伶 (株式会社ProoProo代表取締役)

日本の大学入試における中国語過去問分析とAI歌曲の教育的可能性

14:30~14:35 休憩

14:35~15:15 [実践報告] 黄海洪 (京都大学・院)、何芸芄 (日本経済大学)

ベトナム人留学生の第二外国語としての中国語学習ニーズの分析

—日本語教育の実践経験を持つ中国人教師のナラティブ的探求を通して—

【今後の予定】

2024年度第2回研究会 (運営担当: 東日本)

日時: 2025年2月16日 (日) 開始時刻未定。

開催方法: オンライン (Zoom)

現時点での発表予定者

[研究発表] 楊一林 (津田駒工業株式会社)

日中ビジネス接触場面における同調行動の多様性—マルチモーダル分析による考察—

[研究発表] 季鈞菲 (関西学院大学)

面向日语母语者的汉语前后鼻音教学方法与教学效果的考察 —以-an/-ang、-en/-eng、-in/-ing为中心—

・上記2名に加え、発表を検討中の会員あり。応募締め切り等詳細はHP参照。

2.2.4. デジタルリソース委員会報告

伊藤委員長より、同委員会では定期的にWebサイトの更新作業を実施しており、2024年6月1日に開催された第1回理事会以降では、①改訂版投稿規程の掲載、②第2回研究会に関する情報の掲載、③第6回中国語教育ワークショップ・交流会に関する情報の掲載、④外部団体等からのイベント情報10件・公募情報5件の掲載をおこなった、との報告がなされた。また新規の公募情報および関連イベント情報については、掲載と同時に会員メーリングリストにリマインダーを配信したことも併せて報告された。

【参考】 イベント情報等の掲載フロー

○主催行事等, 学会が主体であるような告知

各担当者 → デジタルリソース委員会

○会員からの関連する他団体等の情報, 公募情報

会員 → 事務局 → デジタルリソース委員会 (採否の決定は委員長)

○非会員・他団体等からの直接の掲載依頼

非会員の個人や団体等 → 事務局 → デジタルリソース委員会 → 理事会 (持ち回り) で可否審議 → (可の場合) デジタルリソース委員会で掲載, (否の場合) デジタルリソース委員会から回答。

2.2.5. 中国語教育ワークショップ・交流会委員会開催報告および今後の予定

勝川委員長より、第5回ワークショップの開催報告および今後の予定が報告された。

第5回 中国語教育ワークショップ・交流会（2024年9月7日（土）10：30～11：50）

講演会「投稿論文のどこが評価されるか・されないか～査読者のナイショ話」

講演者：西 香織（明治学院大学・教授）

形式：オンライン（Zoom）

参加者数：55名

第6回 中国語教育ワークショップ・交流会（2024年12月13日（金）20：00～21：30）

テーマ別交流会

①発音、ピンイン、リスニングなど音声面

②各種の授業内活動

③悩み相談、テーマを定めない自由交流等

形式：オンライン（Zoom）

参加者数：15名（第6回については、理事会後、本会報発行時までには終了）

第7回 中国語教育ワークショップ・交流会（2025年2月8日（土））

第7回については理事会後、本会報発行時までには開催形式が対面からオンラインに変更となり、内容も以下のとおり変更となった。

第7回 中国語教育ワークショップ・交流会

日時：2025年2月8日（土）13時～15時

形式：オンライン（Zoom）

※東京での対面開催予定から変更になりました。

※2月1日（土）に学会メーリングリストでZoom ID,PWをお知らせします。

参加資格：中国語教育学会会員

申し込み不要、参加費無料

テーマ：語学コーチングと中国語教育

プログラム

12:45 入室

13:00 開会、主旨説明

13:10 ゲストスピーカー：伊地知 太郎先生「語学コーチングとは？」

14:10 休憩

14:20 全体討論：自身のクラスに語学コーチングを取り入れるには？

15:00 閉会

ゲストスピーカー：伊地知 太郎先生（語学コーチングスクールthe courage代表）

概要：発表者がこれまで語学コーチング業界で経験してきたことをもとに、「コーチングとは何を指すのか」「語学コーチングとコーチングに違いはあるのか」という概要を紹介します。また、具体的に語学コーチングスクールでは生徒（受講生）に対してどのような指導・対応を取っているのか、発表者が感じてきた課題、すでに対策として行っていること、今後取り組む必要があると感じていることなどをお話するとともに、コーチングや語学コーチングをより深く知るためのツールなどについても紹介します。

2.2.6. 対外交流の動きについて

植村会長より、2024年度第1回理事会以降、現在までの対外交流の動きとして、世界華語文教育学会（台湾）から雑誌『華語文教学研究』の第21巻第2期（2024年）がWebサイトのリンク引用の形で届いたことが報告された。

臺灣學術期刊開放取用平台（TOAJ） 免費下載及閱覽。

<https://toaj.stpi.narl.org.tw/index/journal/volume/4b1141f990b094540190b56d45460046>

2.2.7. 第23回全国大会（2025年度）準備状況報告

杉江理事（第23回全国大会準備委員）より、大会準備状況について以下の報告がなされた（第23回全国大会準備委員会委員長・田邊鉄の代理報告）。なお、大会準備委員として、次の9名が承認された。

(1) 第23回全国大会準備委員（敬称略）

田邊鉄（委員長・北海道大）、杉江聡子（会場校担当・理事・北海学園大）、楊彩虹（北海道大）、石井友美（岡山大）、許挺傑（大分県立芸術文化短期大）、鈴木慶夏（神奈川大）、日高知恵実（事務局幹事・明治学院大）、望月雄介（松山大）、劉玓（北海商科大）

(2) 開催時期・会場

日時：2025年5月31日（土）～6月1日（日）の2日間

北海学園大学（〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40）

開催方式：対面

(3) プログラム（以下は現時点の予定。詳細は4月発行の「大会案内」参照）

【1日目 5/31(土)】

時間	予定
10:30-12:30	理事会
12:30-13:00	昼休み
13:00-13:15	開会式

13:15-14:45	基調講演 (90分) 郑艳群 (北京语言大学教师教育学院/汉语国际教育研究院・教授) 題目: 数智时代中文教学的新任务与策略创新 (暂定)
14:45-14:55	休憩
14:55-16:55	パネルディスカッション (発表30分/人+質疑・討論30分) テーマ: AIとオタクが創る中国語教育のミライ 司会・モデレータ: 清原文代 (大阪公立大・教授) 登壇者: 杉山滉平 (立命館大学・大学院生)、氷野善寛 (目白大学・准教授)、山崎直樹 (関西大学・教授)
16:55-17:00	休憩
17:00-18:00	会員総会
18:00-18:15	第24回大会 (2026年) 大会準備委員長挨拶、事務連絡等
19:00-21:30	情報交換会@羊々亭 (ようようてい) https://yoyotei-jingisukan.foodre.jp/

【2日目 6/1(日)】

9:00-12:00	受付	1階 入口
9:00-16:00	クローク	2階XXX教室
9:00-16:00	書店・出版社展示会	2階XXX教室

分科会発表: 発表時間20分、質疑応答10分、入替・移動10分。

午前3会場、午後3会場。午前は3会場×3枠、午後は3会場×5枠を想定。15:30ごろ全体終了、撤収予定。発表希望者が少ない場合は、会場数を3から2へ変更するか、午後の枠を減らす。

ポスター発表: 行わない。

(4) 今後のスケジュール

2024年12月中 ウェブページに第23回全国大会の告知開始

2025年1月中 「会報」に大会案内と発表応募規定を掲載

1/25~2/15 発表申込受付期間

3/10 発表採択者の決定

4月中 ウェブページに大会プログラムを掲載

4/21 予稿集原稿締め切り

4/22~5/11 予稿集編集

4/22~5/11 事前参加申込期間

5月下旬 予稿集アップ

5/31~6/1 大会当日

(5) 発表申込みについて

①発表の種類と応募方法

発表形態は、分科会発表のみ（ポスター発表無し）。応募は大会準備委員会が指定する以下の期間に、「発表申込表」と「発表要旨」（800字）を提出する。

発表応募先 taikai2025@jacle.org

（自動返信メールの設定がされているため、発表申し込みメールを送信後、数分で受領確認メールが届く。届かない場合は、メールサーバのトラブルなどが考えられる）

②発表応募時期

ウェブページ、会報等で広報を開始し、2025年1月25日から2月15日23:00（日本時間）の期間にメールで申し込みを受け付ける。

*提出日に遅れた場合は、理由にかかわらず、期限の延長はしませんので、時間に余裕をもってお申し込み下さい。なお、提出先の誤りが多く発生しています。申し込みを受け付けたものは確認メールを送りますので、申し込み後24時間以内に受領メールが届かなかった場合は、準備委員会に問い合わせメールを送信してください。

③予稿集について

「デジタル版」のみを作成。発表予定者には「執筆要領」に従いデータの提出を求める。「デジタル版」は大会およそ1週間前から学会ウェブページに掲載。

④発表時の使用言語

申し込んだ使用言語以外は発表時認めない。（ただし質疑応答の場合はこの限りではない）

(6) 大会参加費等について

大会参加費：会員3,000円・非会員3,500円

昼食弁当代：1,000円（2日目のみ）

情報交換会費：5,500円

出版社出店料：3,000円（会員団体）、5,000円（非会員団体）

※大会参加費、昼食弁当代、情報交換会費、出版社出店料の徴収は、いずれもPeatixからの事前オンライン決済のみ（4/22-5/11）とする。

(7) 学会託児について

会場と同じ建物内に託児室を用意する。1時間当たり1,000円（1日当たり最大6,000円）を利用者が負担する。その他は学会側で負担する。

2.2.8. 第24回全国大会（2026年度）について

植村会長より、以下の報告がなされた。

日時：（予定）：2026年6月6日（土）～6月7日（日）

場所：慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤5322）

<https://www.sfc.keio.ac.jp/maps.html>

大会準備委員会委員長（敬称略）：宮本大輔

2.3. 審議事項

2.3.1. 『中国語教育』編集委員会関連事項

藤井委員長より、編集委員会での決定事項および検討事項について報告がなされた。理事会での審議の結果、「執筆要領」について、以下のとおり変更することが決定された（**朱書き箇所**）。
テンプレートの「使用」については投稿票の確認項目の中にも加えることとなった。

2.3.1.1 『中国語教育』執筆要領の変更

「執筆要領」

5.原稿の書式と分量

(2)各部の書式（「見本（テンプレート）」を**参照使用すること**）

2.3.1.2 『中国語教育』第24号（2025年度）編集委員選出について

〈2年目〉

望月雄介（松山大学）【委員長】

宮本大輔（慶應義塾大学）

路浩宇（九州国際大学）（中国語母語話者）

西香織（明治学院大学）【理事枠】

〈1年目〉

齋藤貴志（麗澤大学）

吉川龍生（慶應義塾大学）

丁雷（慶應義塾大学）（中国語母語話者）

中田聡美（大阪大学）【理事枠】

2.3.1.3. 『中国語教育』オンライン投稿システム導入について

投稿者自身が投稿状況を確認したり、投稿先や投稿日時の間違いを自動で判断できるよう、将来的にはオンライン投稿システムを導入してほしい、との要望が編集委員会より提出された。これに対して、植村会長より、今後、事務局が関係部署と共に検討していく、との回答がなされた。

2.3.1.4. 「査読マニュアル（仮称）」作成について

学会誌査読者用の「査読マニュアル」を作成するため、今年度編集委員会内に、現編集委員会をメンバーとし、西香織理事を長とする「査読マニュアル(仮称)」作成ワーキンググループを設置したい、との提案がなされ、承認された。

2.3.2. 学会誌のデジタル化について

氷野代表理事（学会誌のデジタル化に関わるワーキンググループ委員長）より、学会誌をデジタル化する上で検討事項として挙がっていた掲載時期と掲載範囲について提案がなされ、理事による投票の結果、「最新号（紙版）より1年遅らせてデジタル版をJ-stage公開する」こととなった。会員は従来どおり紙版で最新号を読むことができ、内山書店での販売も継続される。

掲載範囲について、論文や実践報告は原則公開とするが、非会員の許諾を取る必要がある「特集」のほか、「書評」や「わたしの授業」なども公開するかどうか、引き続きワーキンググループ内で素案を作成し、次回の理事会で決議を取ることとなった。

2.3.3. 会員名簿のオンライン化について

氷野代表理事より、会員名簿をオンライン化するには一時的に約130万円の構築費用がかかるが、例えばこのシステムを6年間使い続ければ、3回分印刷して郵送するよりも安くなり、また会員情報システムを通じた様々な検索が可能になる、とのメリットが示され、①会員名簿のオンライン化（約130万円の構築費用）、②1～2年ごとにPDFを作成し配布（57,200円（税別）/1回）、③印刷して郵送（40万円/1回+送料）という3つの選択肢について、理事による投票がおこなわれた結果、①が賛成多数で承認された。

2.3.4. 全国大会及び研究会、ワークショップにおける講師謝礼の基準

植村会長より、2022年度第2回理事会において、「全国大会および研究会・ワークショップにおける講師謝礼の基準」について検討した結果、講演会のような会員全体の利益になるものについては、会員が講師を務めた場合も謝金を支払うといった方針の変更が承認され、2023年度以降は実際に会員講師に謝金が支払われている、との説明がなされた。こうした経緯を反映すべく、理事会内規として運用している「全国大会および研究会における講師謝礼の基準表」を以下のとおり修正したい、との提案がなされ、承認された。

全国大会および研究会・ワークショップにおける講師謝礼・旅費の支払い基準表

	非会員（国内在住）		会員（国内在住）	
	研究会	全国大会	研究会	全国大会
謝金（但し、講演時間50分以上のものに限る）	1万円	2万円	1万円	
講演ビデオのネット公開、または講演DVDの貸し出し許可の場合	1万円			
旅費	実費（上限5万円）（ただし、「全国大会」については会員は自費とする）			

備考	<ul style="list-style-type: none"> ・あくまで基準であって規則ではないため、個々の事例で調整することがある ・国外在住者・非会員の旅費については、その都度理事会で話し合い、決定する
----	---

2.3.5. ワークショップ運営委員の謝金及び交通費等について

勝川理事（中国語教育ワークショップ・交流会委員会委員長）より、中国語教育ワークショップ・交流会において委員が講師を務める場合も、上記の謝金基準を適用することが確認された。また開催時間によってやむなく宿泊代がかかる場合は、理事会の前泊補助に準じる宿泊代と交通費を含む旅費の実費（上限5万円）を、当該年度の「研究会等開催費」予算から支出したい、との提案がなされ、承認された。

続いて、次年度（2025年度）以降のワークショップ・交流会を対面で開催するにあたり、①ワークショップ委員が講師でなく「運営スタッフ」として長距離の移動を余儀なくされる場合は、交通費のみを実費で支払うこと、②またその交通費は講師謝金と同様、当該年度の「研究会等開催費」予算から支出すること、以上2点を新たに運用可能としたいとの提案がなされ、承認された。

2.3.6. 2025年度のデジタルリソース委員会委員変更について

植村会長より、2025年度のデジタルリソース委員会の委員変更について提案がなされた。2023年度第2回理事会での決定により、2024～2025年度のデジタルリソース委員会委員は伊藤大輔委員長・太田匡亮委員・中田聡美理事・李光曦委員の4名から構成されていたが、中田理事は2025年度から編集委員（理事枠）を務めることから、来年度は中田理事を除く3名体制とする必要性が生まれた。本件はデジタルリソース委員長ならびに現委員からの了承を得た上で提案がなされ、原案どおり承認された。

3. 事務局からのお知らせとお願い

3.1. 会員動向および会費納入状況

会員動向（以下敬称略）

(1) 会員数：計593名（2024年11月22日現在）

個人会員570名（通常会員528名、名誉会員42名）／団体会員23名

(2) 新入会者：計20名（2024年5月14日～11月22日）

王芸嫻（立命館大学・外国語嘱託講師）、王俊（中国浙江師範大学・専任教員）、何芸芃（日本経済大学・専任教員）、邱奕妍（その他）、黄海洪（日本経済大学・非）、高雯（日本櫻之華中文学校・校長）、秦衍（上海大学東京校・非）、蘇徳托亜（その他）、孫爽（関西学院大学・常勤講師）、譚昕（日本大学・非）、張麗（関西学院大学・研究員）、陳迪（神戸大学・院）、杜天邑（その他）、土居薫（関西大学・院）、野崎雅子（早稲田大学・院）、孟夢（関西大学・院）、楊一林（津田駒工

業株式会社・専任教員)、楊璇(大東文化大学・専任教員)、李剛(学校法人理知の杜日本語学校・専任講師)、呂倬菡(大阪大学・院)

(3) 退会届け提出者:計4名(2024年5月14日~11月22日)

(4) 会費納入状況:2,500,000円(2024年11月22日現在)

3.2. 会費納入のお願い

会費未納の方は、お早めに納入くださるようお願い申し上げます。会費納入状況は会員自身でWeb版会員名簿(会員情報管理システム)にて確認することができます。

昨年4月5日に郵送した払込取扱票を紛失された場合は、郵便局に備え付けの「払込取扱票」を使用して、下記の郵便振替口座に送金してください。その場合には、通信欄に氏名および会員番号を、会員番号がわからなければ、氏名に加えて学会に登録している住所を必ずご記入ください。

[口座記号-口座番号] 00110-1-191152 [加入者名] 中国語教育学会

3.3. 退会および除籍について

退会を希望される方は、当該年度までの会費をすべて納入した上で、学会サイトの「Web版会員名簿・変更手続き」にログインして退会手続きをお取りくださいますようお願いいたします。なお、会則第5条に基づき除籍になった会員は、氏名が会報に掲載されますのでご注意ください(会報は学会Webサイトで公開)。退会届が受理された場合、退会者の氏名は掲載いたしません。

3.4. 登録情報の変更について

本学会では、会員の個人情報につきまして、各会員ご自身により入力していただくことになっております。所属や連絡先、郵便物の送付先等に変更が生じた場合は、本学会Webサイトにリンクされている「Web版会員名簿」にログインして、ご自身で変更していただきますようお願いいたします。

Web版会員名簿 <https://a-youme.com/aymms/jacle/login>

Web版会員名簿(会員情報管理システム)の運用については、あゆみコーポレーションに委託しております。Web版会員名簿に関するお問い合わせは下記までお願いします。

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1丁目4-8 日栄ビル703A

あゆみコーポレーション内中国語教育学会事務局事務代行

E-Mail: support@jacle.org

TEL.06-6441-5260(代) FAX.06-6441-2055(代)

あゆみコーポレーションは複数の学会の事務局代行をおこなっており、電話番号、ファックスとも他学会と共通で使用しているため、ご連絡の際には「中国語教育学会」についての問い合わせであるということを必ずお伝えください。